

## 5月25 - 29日週のユーロ円レビュー

June 1, 2009

### 北朝鮮リスクや投信設定で円売り進行

High : 135.70 円 Low : 131.47 円

Close : 134.92 円

北朝鮮をめぐる懸念が、極東でのリスクを回避する行動となり円売りに。また、投信設定や月末のリバランスも円売りに作用し、ユーロ円は一時、年初来高値 137.42 円に迫る 135.70 円まで上昇した。

5/25 (月) 132.98 円

上昇。北朝鮮が核実験実施・ミサイル発射とのニュースを受けて円売りが先行。ユーロ円は 133 円半ばまで上昇した。しかし英バンクホリデー、米メモリアルデーで市場参加者が少なく、動意は限定的だった。

5/26 (火) 132.98 円

独金融機関が抱える不良債権への懸念を高める英紙の記事を受け、欧州通貨売りが先行。しかし米消費者信頼感指数ほか米センチメント系指標の改善が好感されて米株が上昇。クロス円が買われ、ユーロ円は一時 133 円前半へ上昇した。

5/27 (水) 131.86 円

下落。投信設定への警戒感から円売りが先行。しかし、GM 社債保有者の株式交換交渉がまとまらず、リスク回避的な動きが強まった。ユーロ円は 131 円後半で引けた。

5/28 (木) 135.20 円

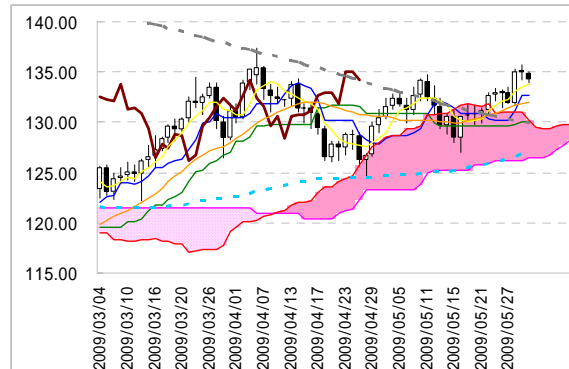
上昇。市場の焦点が定まらないなか、ストップロス狙いの円売りが目立った。また、米国が北朝鮮への制裁検討との話や、韓国が北朝鮮に対する警戒レベルを引き上げたことが不安を高め、極東のリスクに対する反応としての円売りを強めた。S&P が NZ の格付け見直しを引き上げたことも、NZ ドルの対ドル・対円での上昇を通して、ドル売り・円売りに作用した。

5/29 (金) 134.92 円

反落。ロンドン・フィクシングでの豪ドル買いの動きが各通貨の対ドル・クロス円での動きに波及。ユーロドルは年初来高値を 1.4168 ドルまで更新した。ユーロ円も一時、年初来高値 137.42 円に迫る 135.70 円まで上昇。しかし同材料を焦点とした買いが一服すると、一時 134 円前半へ反落した。

月日	High	Low
5/25 (月)	133.45 円	132.07 円
5/26 (火)	133.28 円	131.47 円
5/27 (水)	133.53 円	131.81 円
5/28 (木)	135.30 円	131.70 円
5/29 (金)	135.70 円	134.25 円

### ユーロ円の推移



### テクニカル短期・中期ポイント

137.42 (4月6日高値 = 年初来高値)

135.70 (5月29日高値)

==== 先週末の NY クローズ 134.92 円 =====

132.72 (日足一目均衡表・転換線)

130.05 (5月18日安値)

### 欧州の重要指標結果

5/25 (月) [結果] (前回)

独 5 月 Ifo 景況感指数 [84.2] (83.7)

独 5 月 Ifo 現況指数 [82.5] (83.5)

独 5 月 Ifo 景気期待指数 [85.9] (83.9)

5/26 (火) [結果] (前回)

ユーロ圏 3 月鉱工業新規受注 [-0.8%] (±0.0%)

5/27 (水) [結果] (前回)

仏 5 月 INSEE 消費者信頼感指数 [-40] (-41)

5/28 (木) [結果] (前回)

独 5 月失業者数 [+0.1 万人] (+5.7 万人)

独 5 月失業率 [8.2%] (8.3%)

ユーロ圏 5 月経済信頼感 [69.3] (67.2)

5/29 (金) [結果] (前回)

ユーロ圏 5 月 HICP 速報(前年比) [±0.0%] (+0.6%)

### アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 130.00 - 137.42 円

ユーロ円は北朝鮮をめぐるリスクや投信設定・月末のリバランスの円売りで一時、年初来高値 137.42 円に迫る 135.70 円まで上昇。しかし、先週末にやや買値一服感も生じている。伸び悩むようであれば、下値の心理的節目 130 円をメドに、調整の下落が進むことになるだろう。